

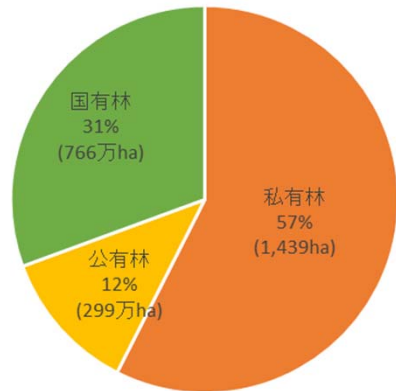
令和元年度 国有林材の販売進捗状況

国有林の資源と木材供給シェアの状況	2
国有林材供給調整対策について	3
林産物の安定供給について	4
令和元年度国有林材の販売進捗状況(10月末時点)	5～7
国有林材の供給実績	8～15

国有林の資源と木材供給シェアの状況

我が国の所有形態別森林面積

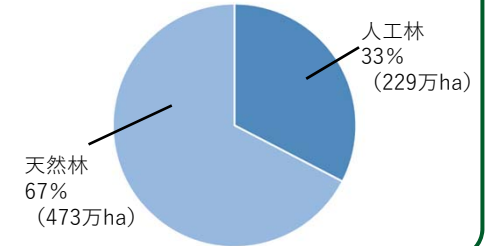
(平成29年3月31日現在)



注：国有林には林野庁所管外のものを含む

国有林の人天別面積

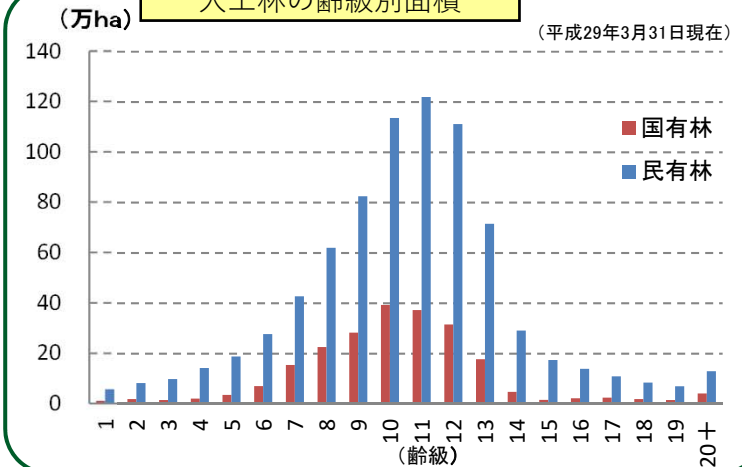
(平成29年3月31日現在)



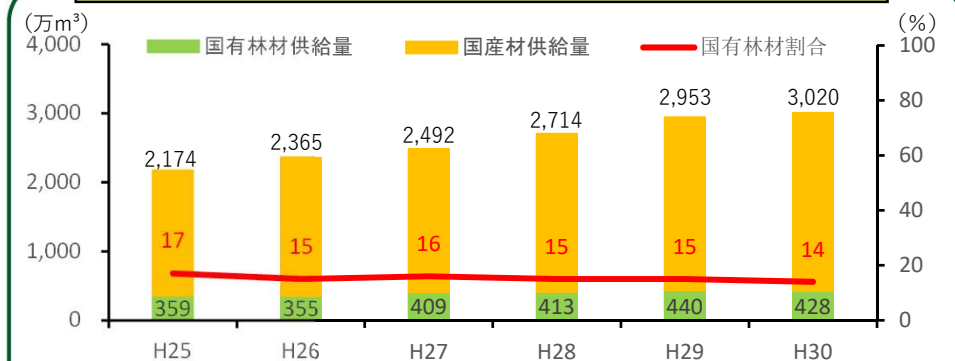
注 国有林には林野庁所管外のものを含む

人工林の齢級別面積

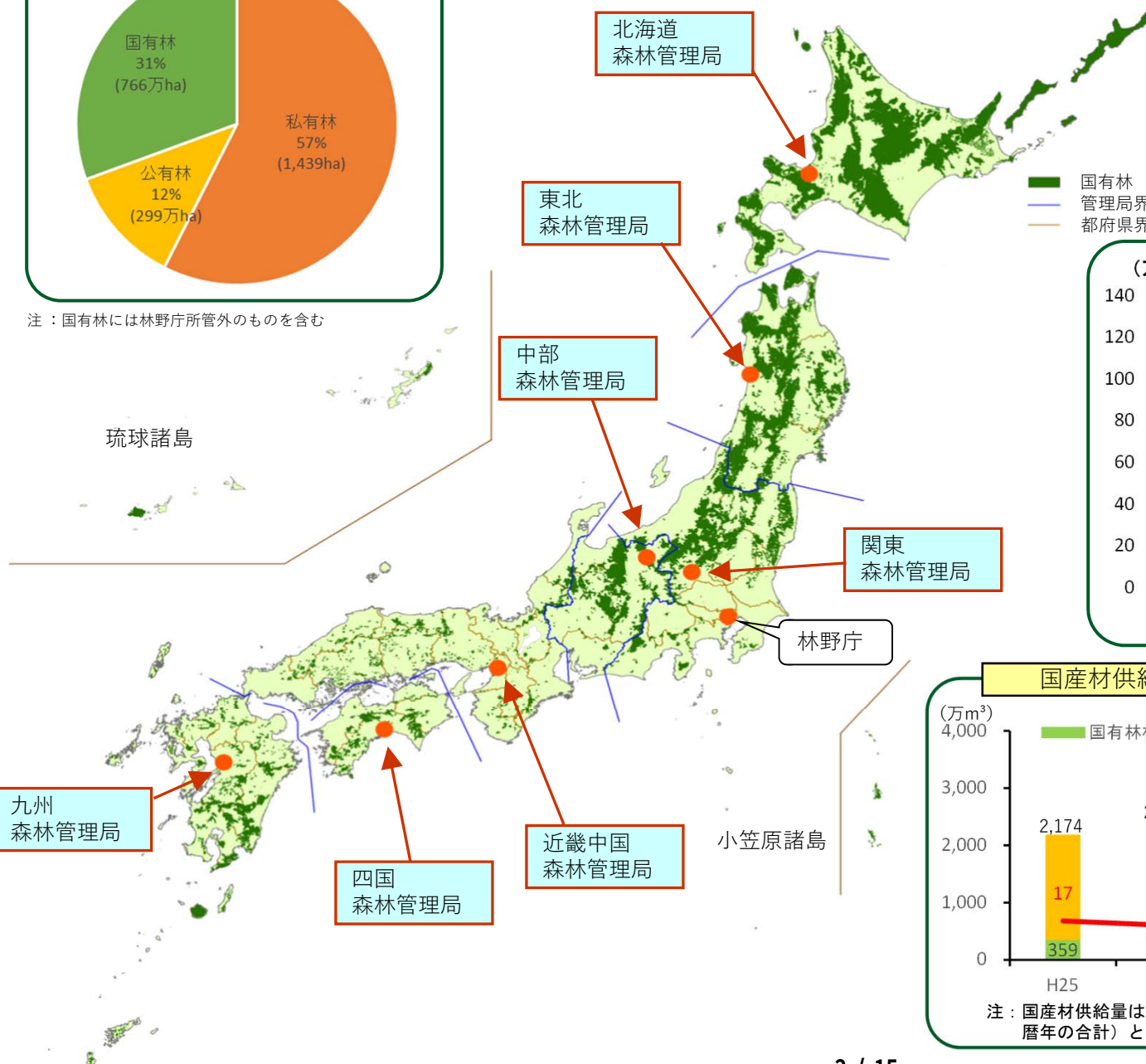
(平成29年3月31日現在)



国産材供給量に占める国有林材（丸太換算）の割合



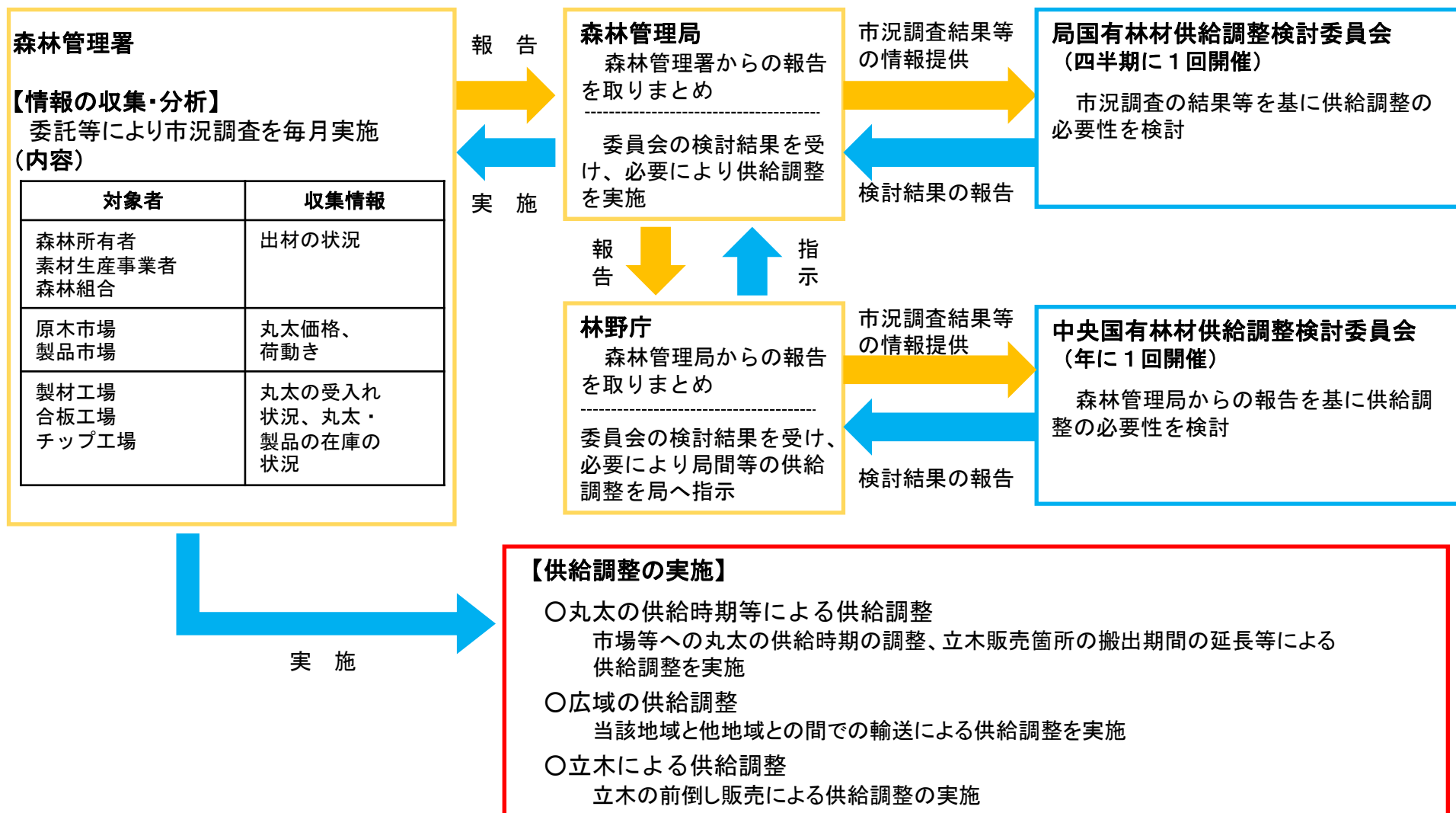
注：国産材供給量は、林野庁「木材需給表」（用材、しいたけ原木、燃料材の供給量で、暦年の合計）となっている。



国有林材供給調整対策について

【趣旨】

- ・ 木材価格が林業経営に必要な水準で安定的に推移することは、森林所有者、林業事業体、木材産業等の経営の安定を図る上で重要。
- ・ 国産材の約2割を供給している特性を活かして、地域の木材需要が急激に増減した場合に、地域の供給ニーズに応えるため、供給調整機能を発揮する。



⑤ 林産物の安定供給

適切な施業の結果得られる木材の持続的・計画的な供給等を通じて、地域の林業・木材産業の活性化を図るとともに、国産材の安定供給体制の構築、新たな需要の拡大等に取り組み、林業の成長産業化の実現に貢献します。

林産物の安定供給

国産材の需要の拡大、加工・流通の合理化等に取り組む製材工場、合板工場等に国有林材を安定的に供給するシステム販売(注)を、立木についても取り組むなど、より一層拡大するとともに、民有林所有者等との連携による協調出荷を推進。

国産材の新たな需要を創出するCLT(直交集成板)工場や、未利用間伐等を活用する木質バイオマス発電所等に向けたシステム販売にも取り組む。

(注) 間伐材等について、国産材需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む製材工場等との協定に基づいて安定的に供給するもの。



システム販売による素材供給
(中部森林管理局)

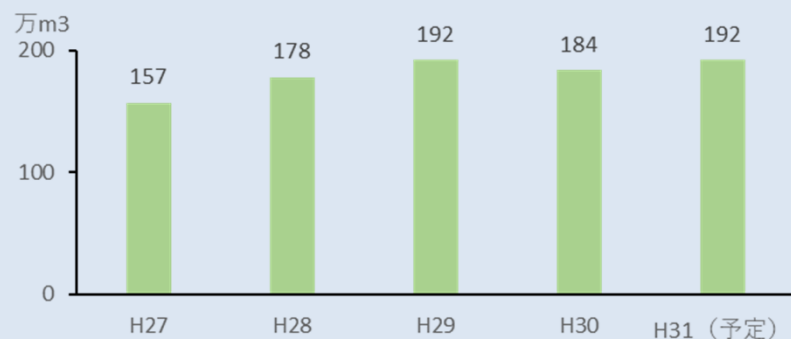
【販売予定量】

(単位：万m³)

	H30予定	H30実績	H31予定
素材販売量	260	261	270
うちシステム販売	189	184	192
立木販売量	320	153	331
うちシステム販売	15	9	11

(注) 1 立木販売量は立木材積で、素材販売については素材(丸太)材積で示している。
2 立木販売量には、分収育林を除く。

【素材のシステム販売量の推移】



事例 立木の安定共有システム販売

四国森林管理局では、地域における安定供給体制の整備や木材の新たな需要の拡大、原木の加工・流通の合理化等に資することを目的として、需要者と複数年(3年以内)の立木(国有林材)の安定供給システム販売の協定を締結した上で、各年度、森林管理署(所)が協定に基づき計画的な販売を実施することとしています。

今後も、立木の安定供給システム販売を通じて高まる需要に対する国産材の安定供給を推進していきます。



事例 広葉樹の販路開拓の推進

東北森林管理局では、広葉樹材の需要動向等を把握し、需要に適應した採材を通じて販路開拓を行うため、各森林管理署等において広葉樹材の採材検討会を実施しています。

検討会では、広葉樹資源の有効活用に向け、一般材として流通している樹種、形質等の目合わせ等の研修を実施しています。あわせて、広葉樹の単板工場を訪問し、材の節、曲がり等の単板への影響度合い等について意見交換を実施しています。

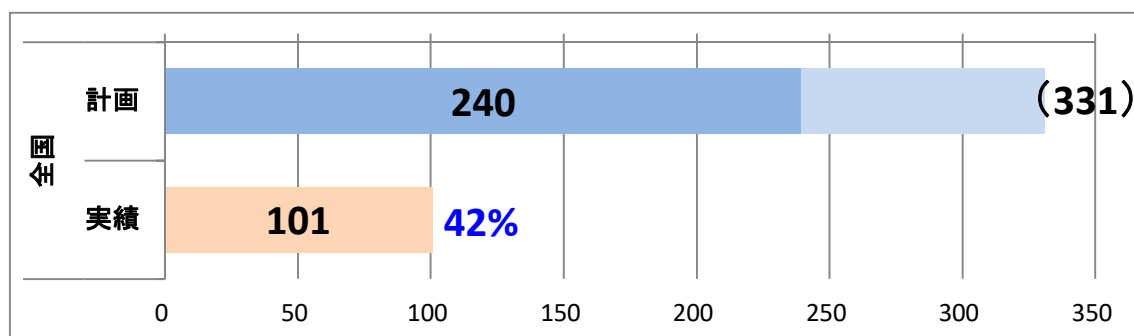
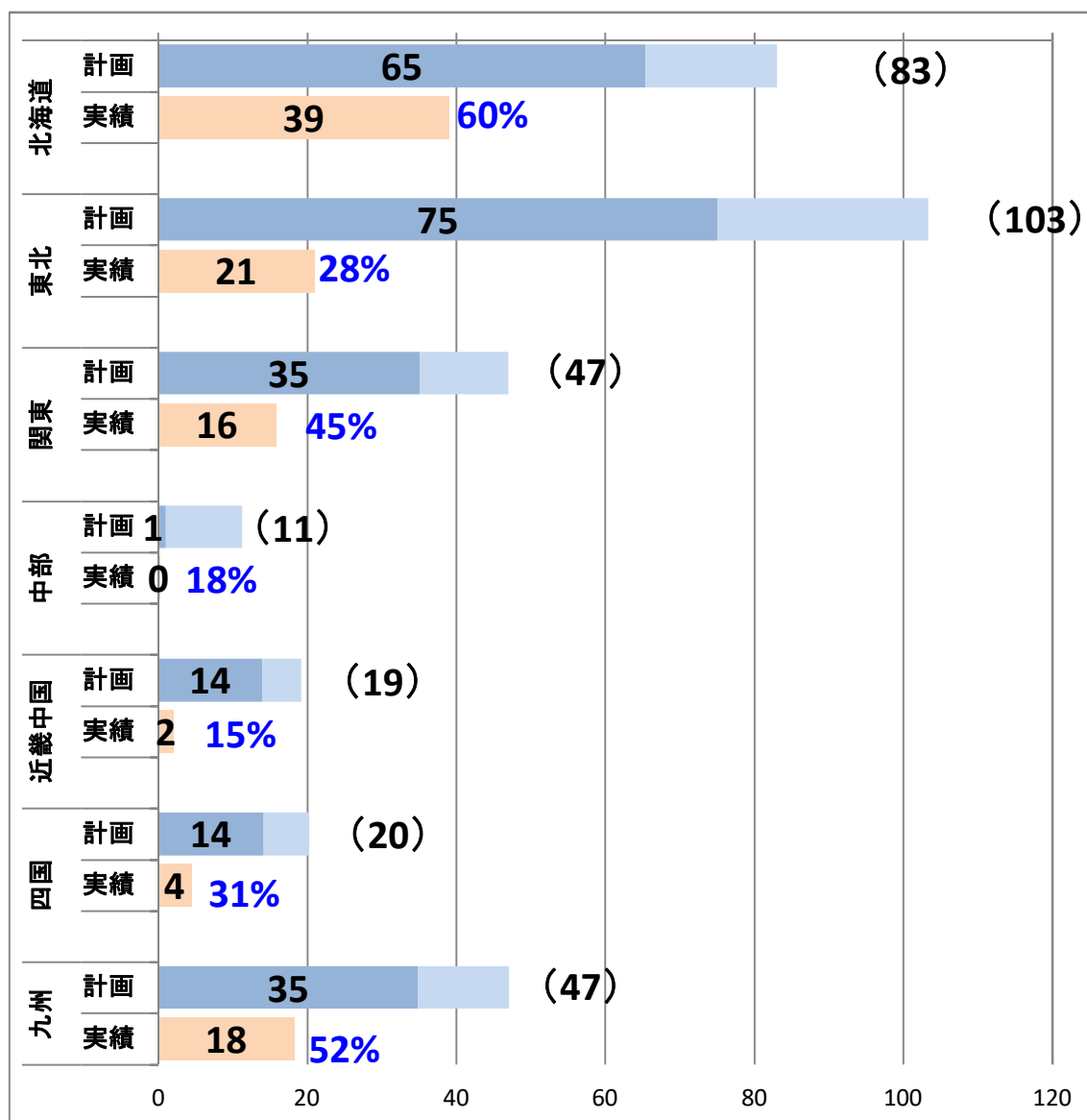
今後とも、広葉樹材の需要動向の把握力強化と、伐採検討会を継続的に実施し、広葉樹資源の有効活用を通じた地域の振興に取り組めます。



令和元年度国有林材の販売進捗状況(10月末時点)

【立木販売】

(万m3)



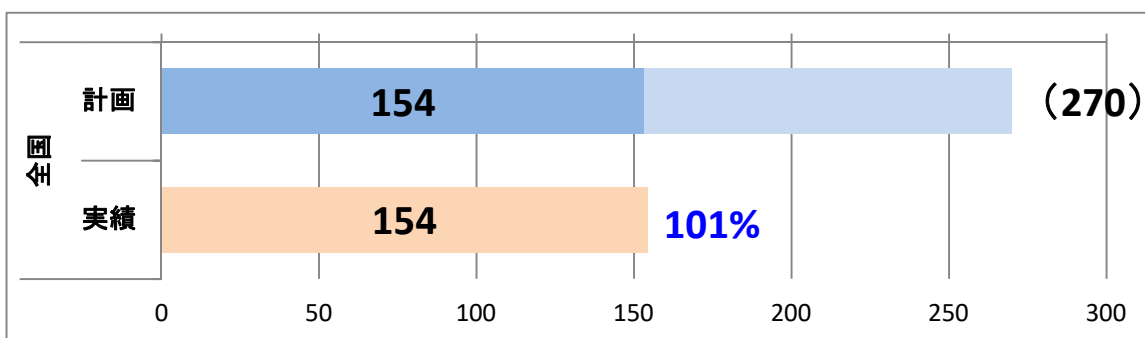
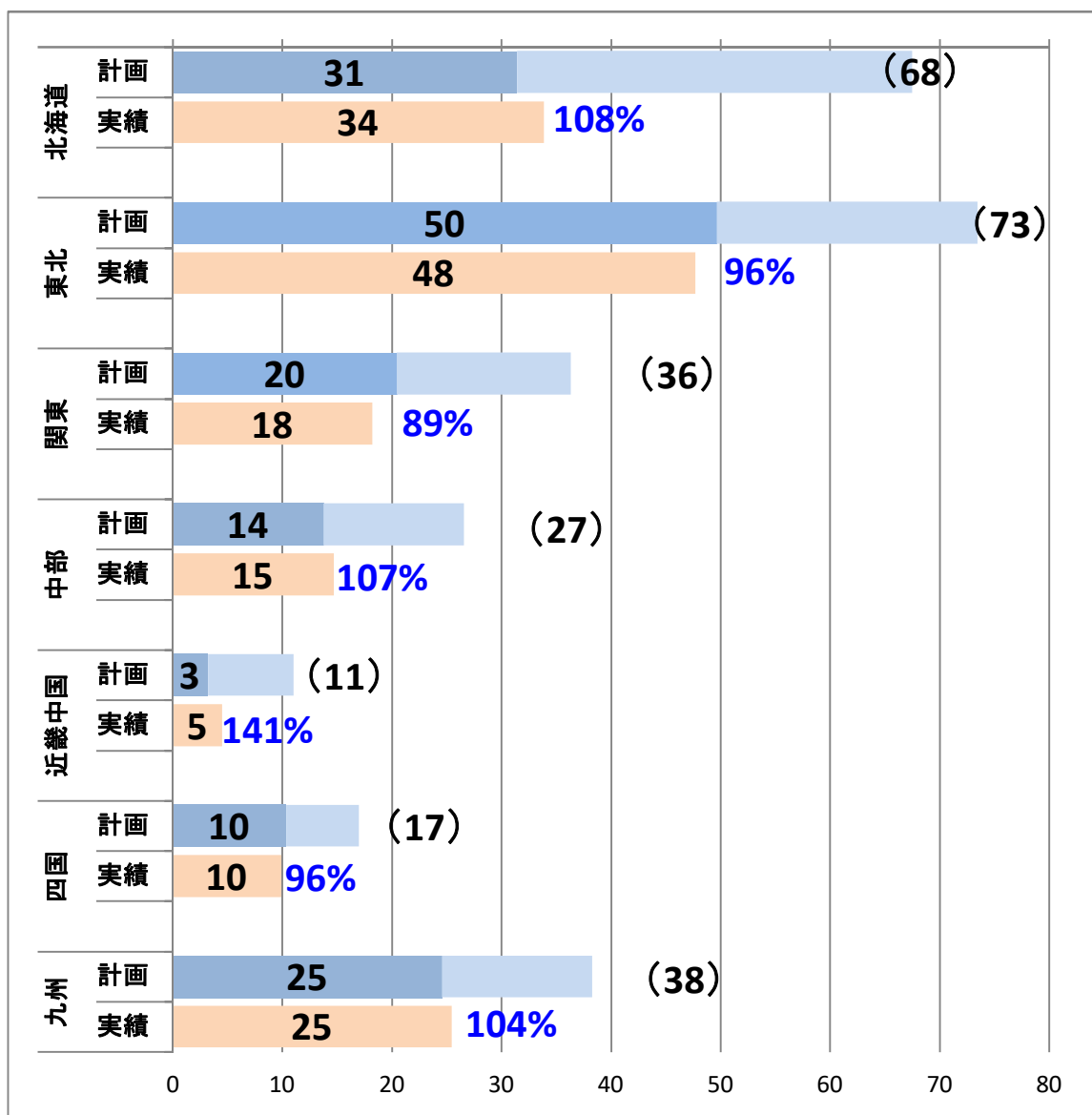
※()内の計数は年間計画量

※青数字は10月末時点での進捗率(10月末実績量/10月末計画量)

令和元年度国有林材の販売進捗状況(10月末時点)

【製品販売】

(万m3)

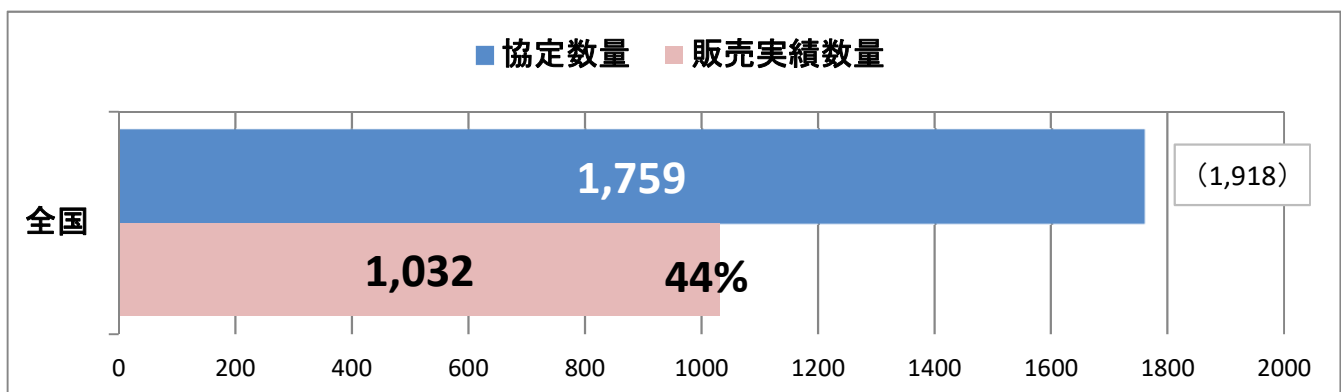
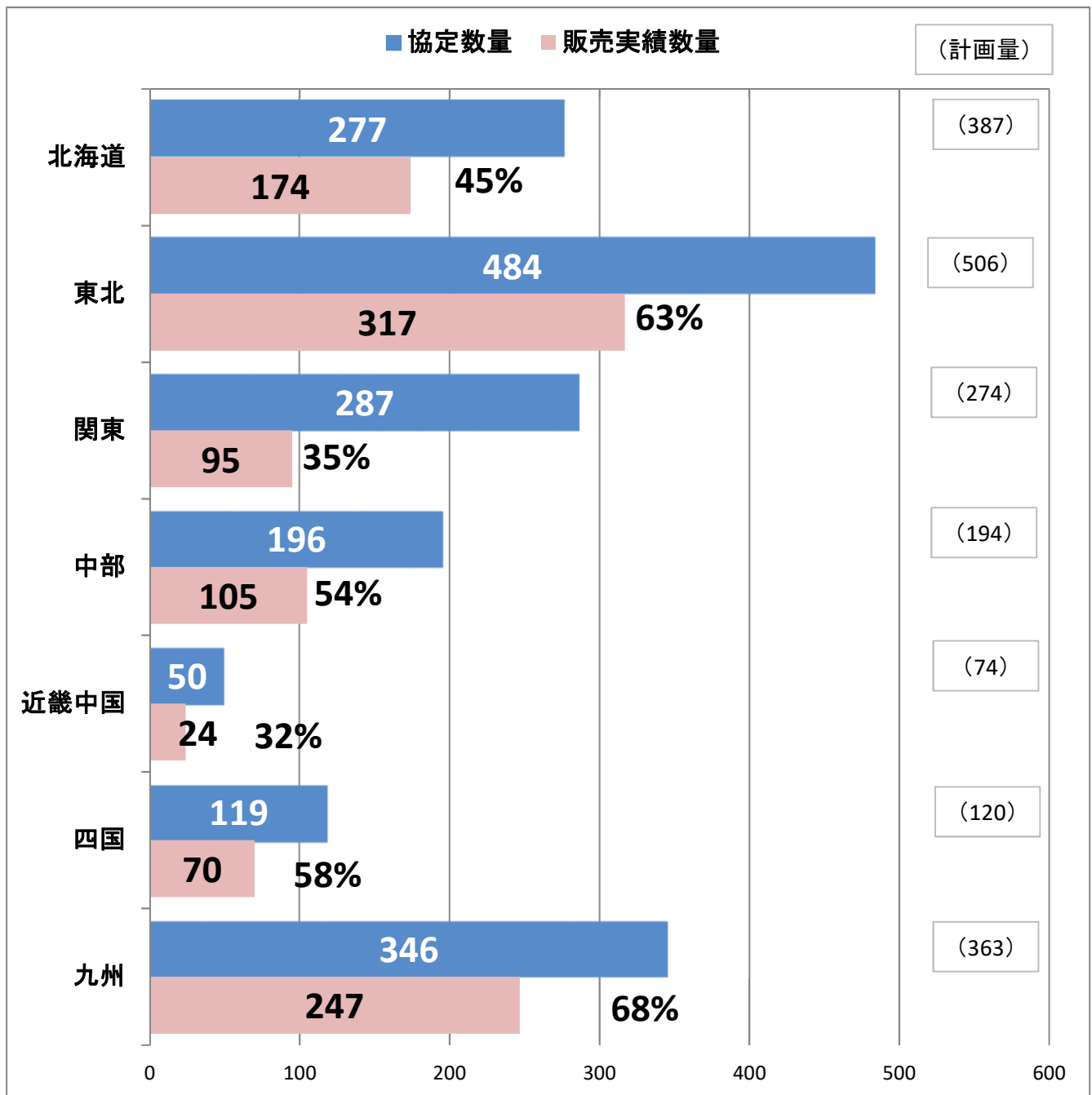


※()内の計数は年間計画量

※青数字は10月末時点での進捗率(10月末実績量/10月末計画量)

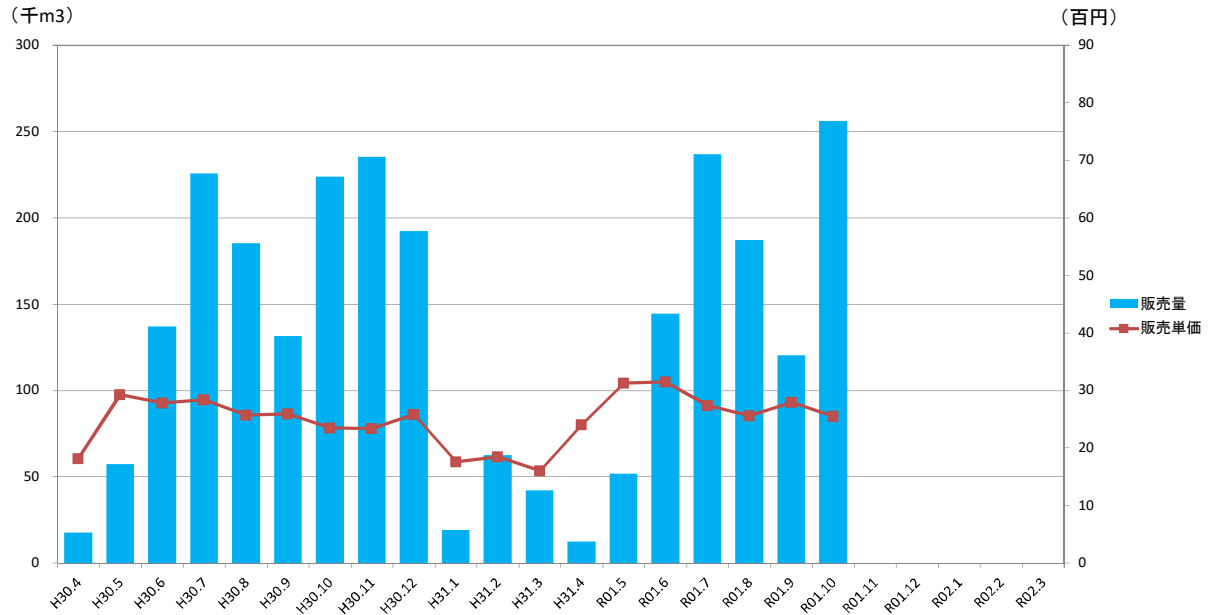
〔製品販売のうちシステム販売〕

(千m3)



国有林材の供給実績(全局)

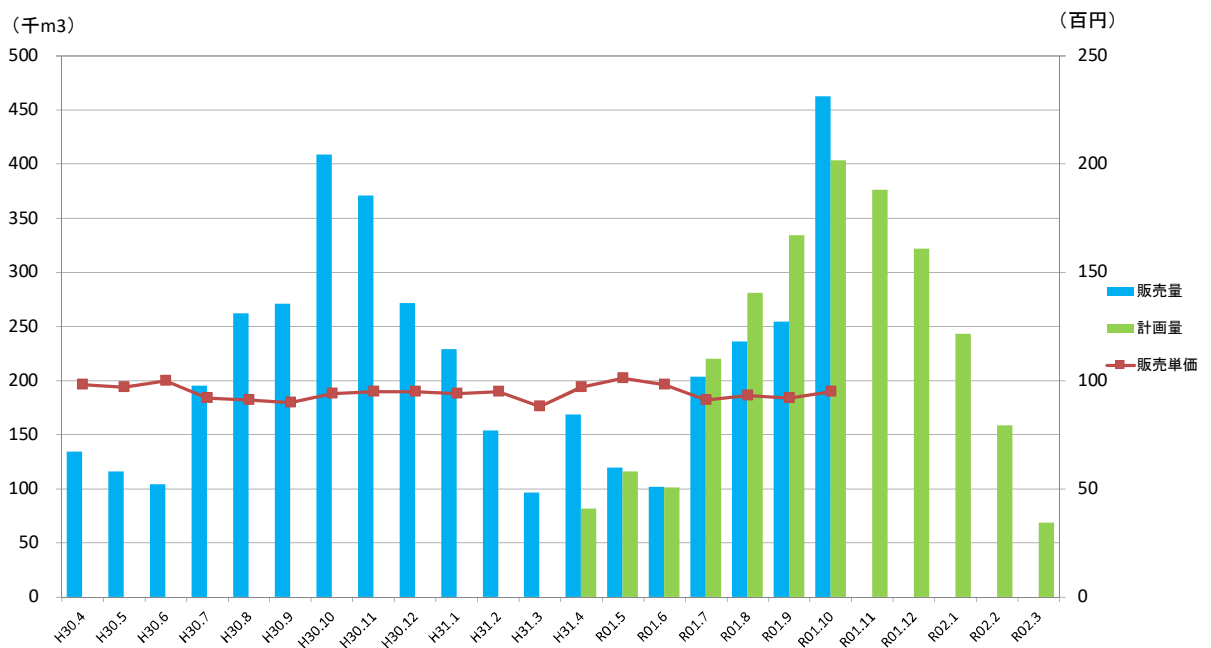
立木販売実績(全局)



【H30年度】実績：153万m3 【令和元年度(10月末時点)】計画：240万m3 実績：101万m3

資料：林野庁業務資料

製品販売実績(全局)

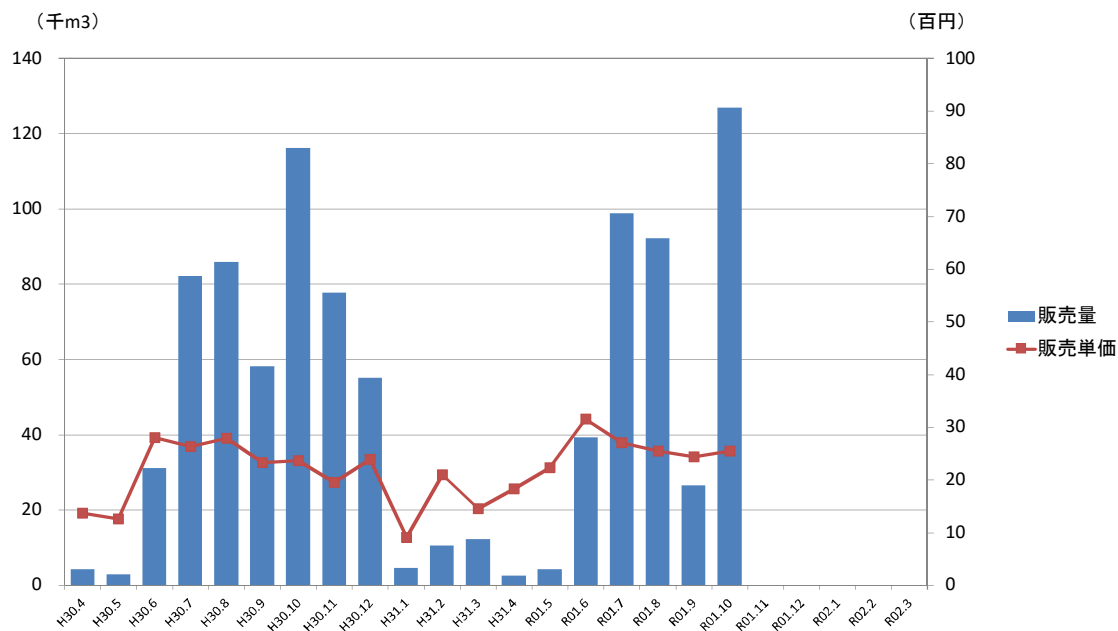


【H30年度】実績：261万m3 【令和元年度(10月末時点)】計画：154万m3 実績：154万m3

資料：林野庁業務資料

国有林材の供給実績(北海道森林管理局)

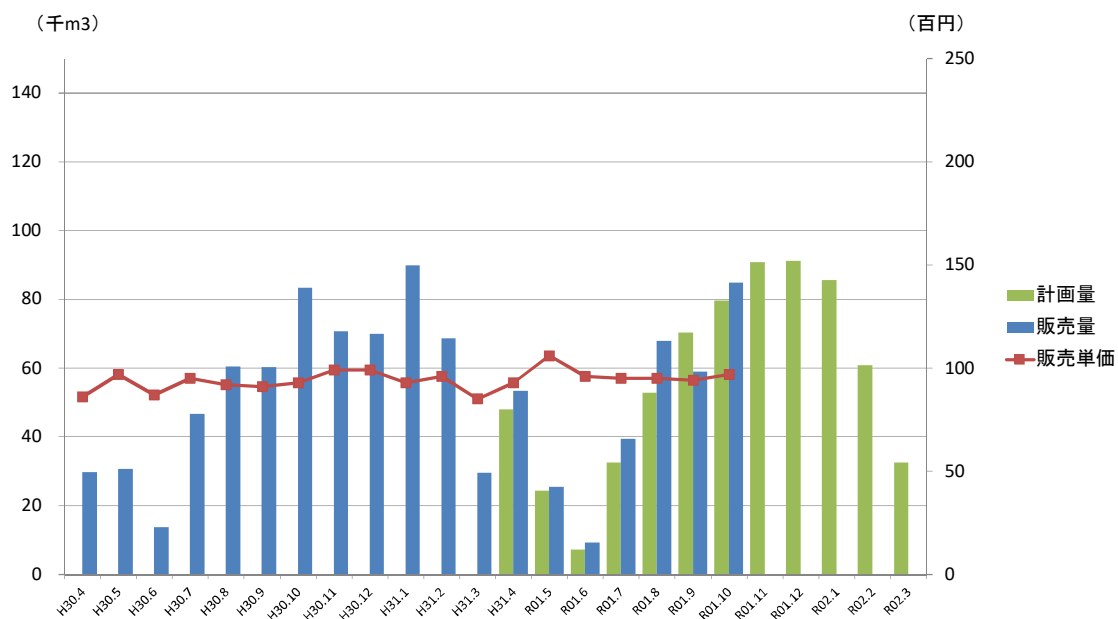
立木販売実績(北海道局)



【H30年度】 実績 : 54万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 65万m3 実績 : 39万m3

資料: 林野庁業務資料

製品販売実績(北海道局)

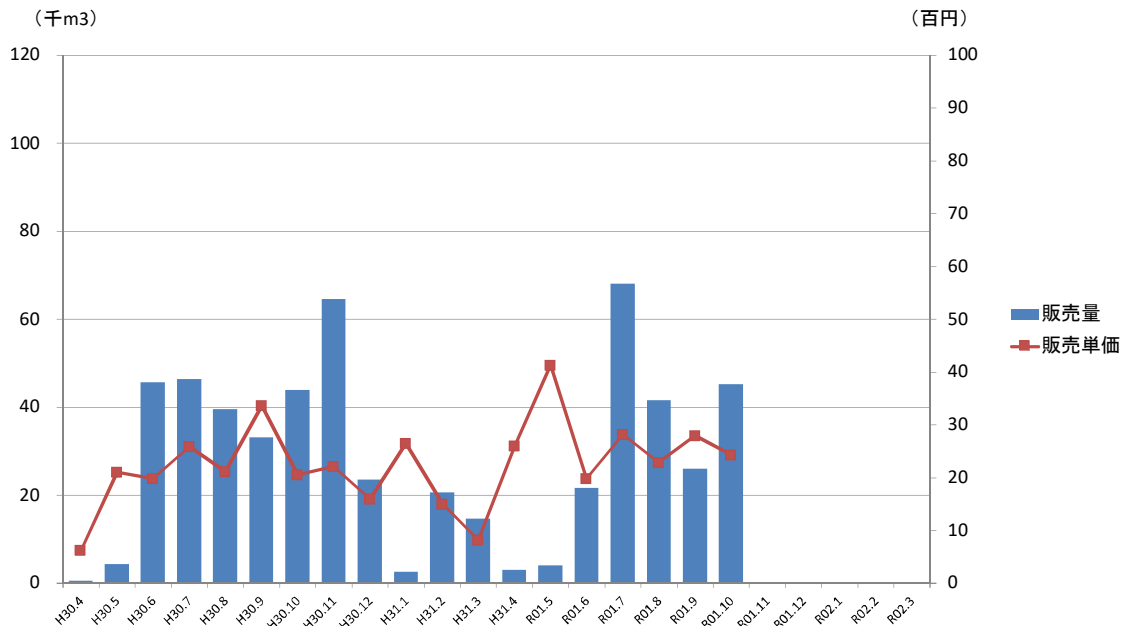


【H30年度】 実績 : 65万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 31万m3 実績 : 34万m3

資料: 林野庁業務資料

国有林材の供給実績(東北森林管理局)

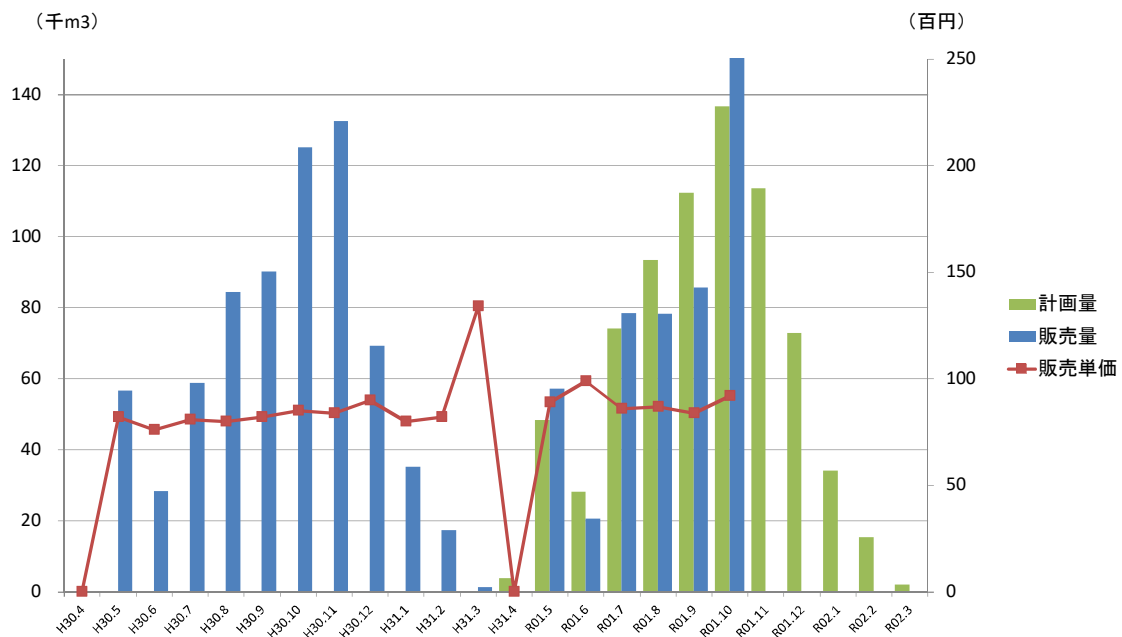
立木販売実績(東北局)



【H30年度】 実績 : 34万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画: 75万m3 実績: 21万m3

資料: 林野庁業務資料

製品販売実績(東北局)

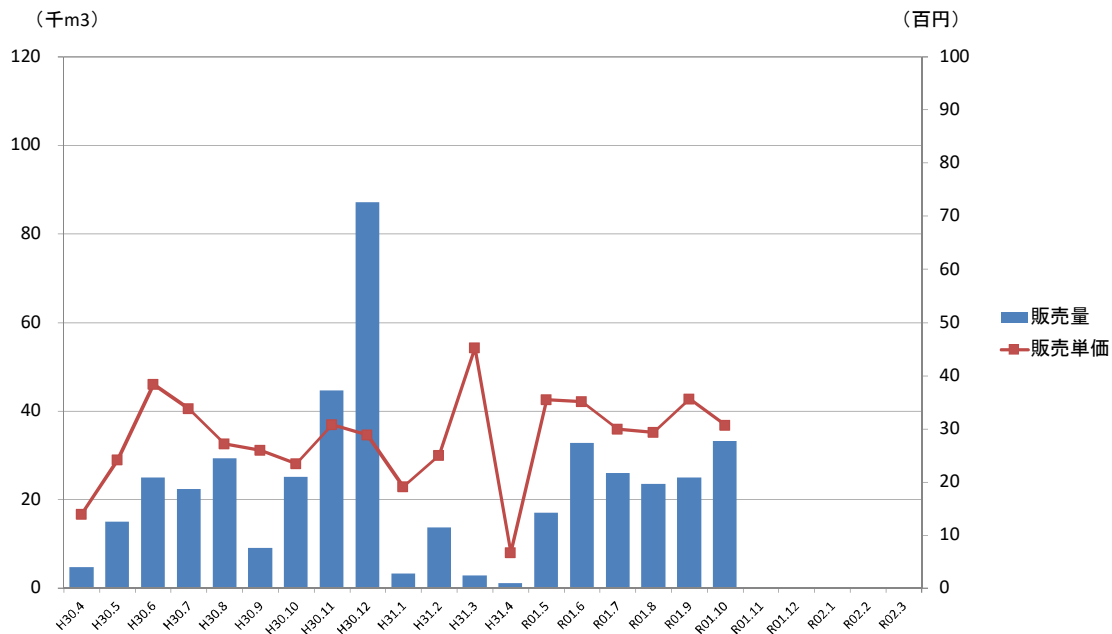


【H30年度】 実績 : 70万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画: 50万m3 実績: 48万m3

資料: 林野庁業務資料

国有林材の供給実績(関東森林管理局)

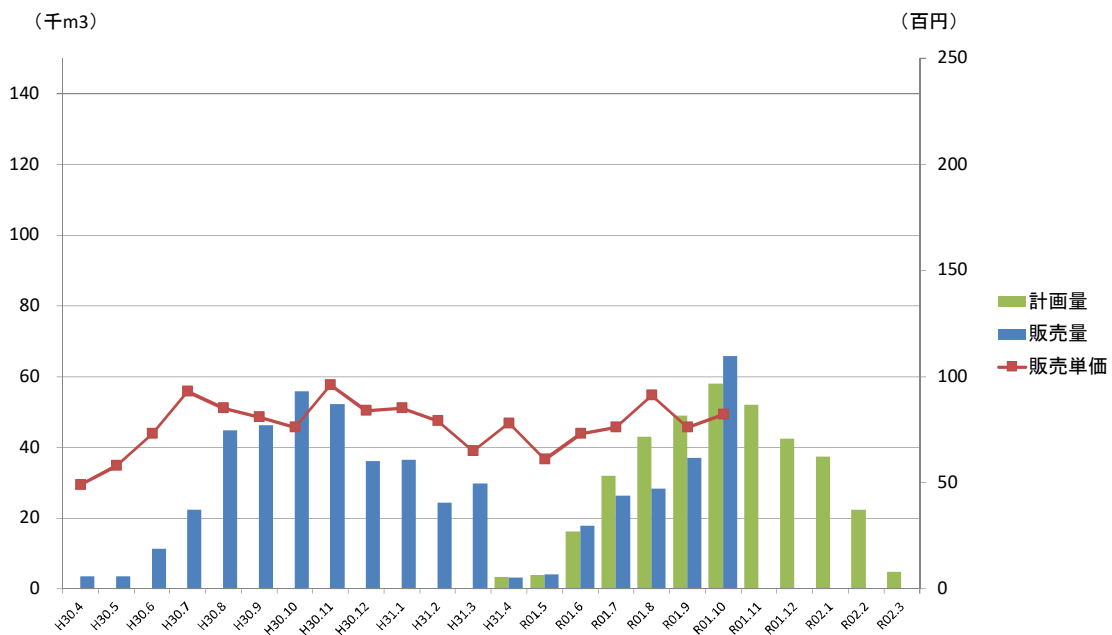
立木販売実績(関東局)



【H30年度】 実績 : 28万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画: 35万m3 実績: 16万m3

資料: 林野庁業務資料

製品販売実績(関東局)

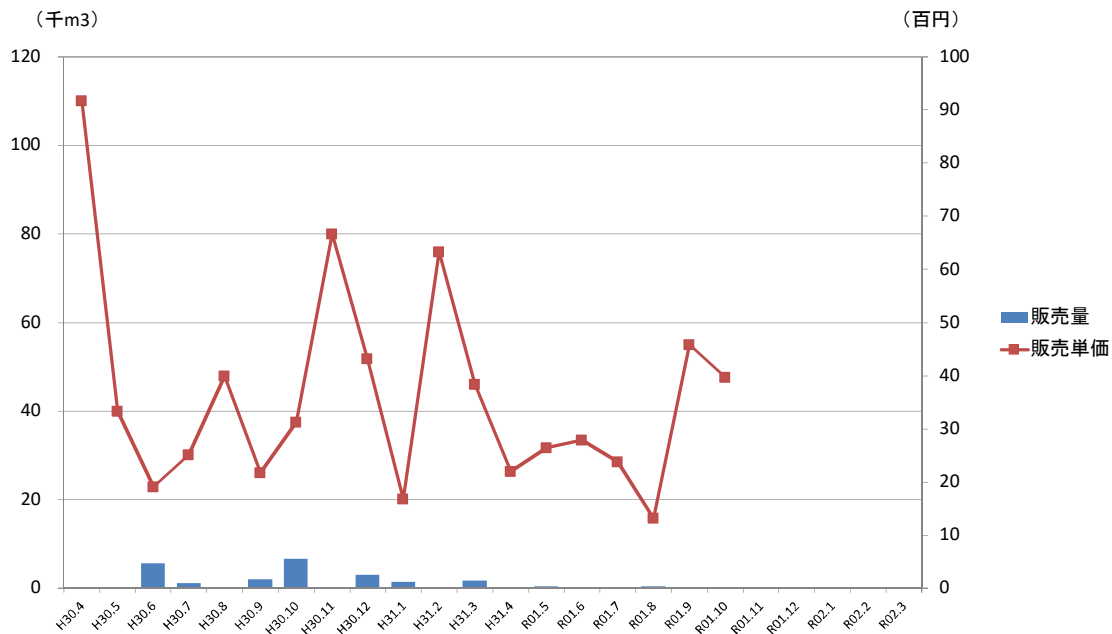


【H30年度】 実績 : 37万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画: 20万m3 実績: 18万m3

資料: 林野庁業務資料

国有林材の供給実績(中部森林管理局)

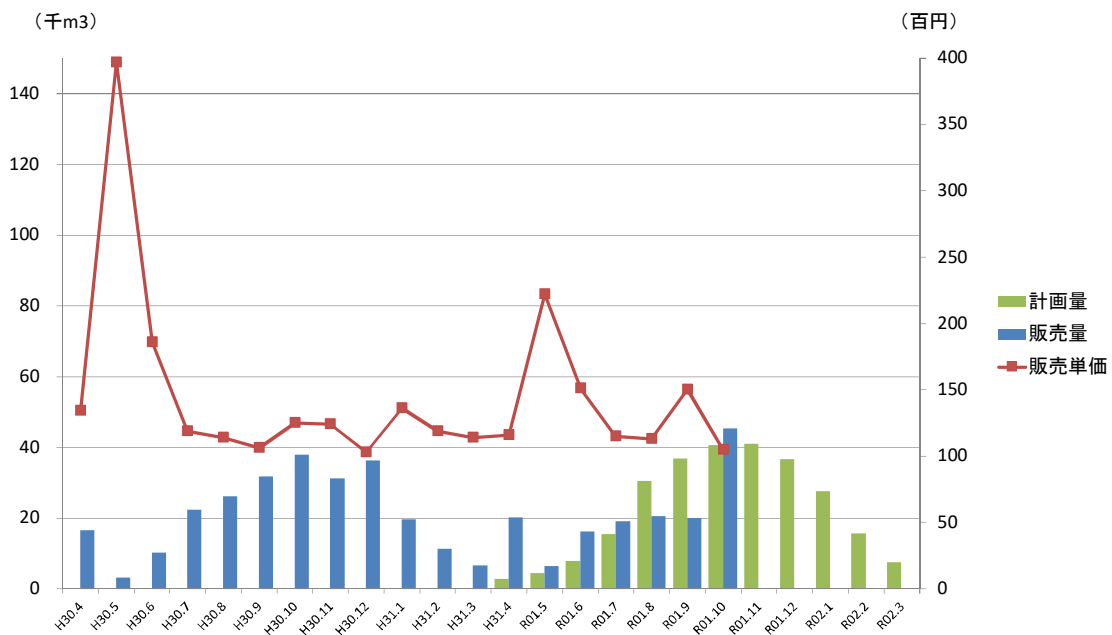
立木販売実績(中部局)



【H30年度】 実績 : 2万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 1万m3 実績 : 0.2万m3

資料 : 林野庁業務資料

製品販売実績(中部局)

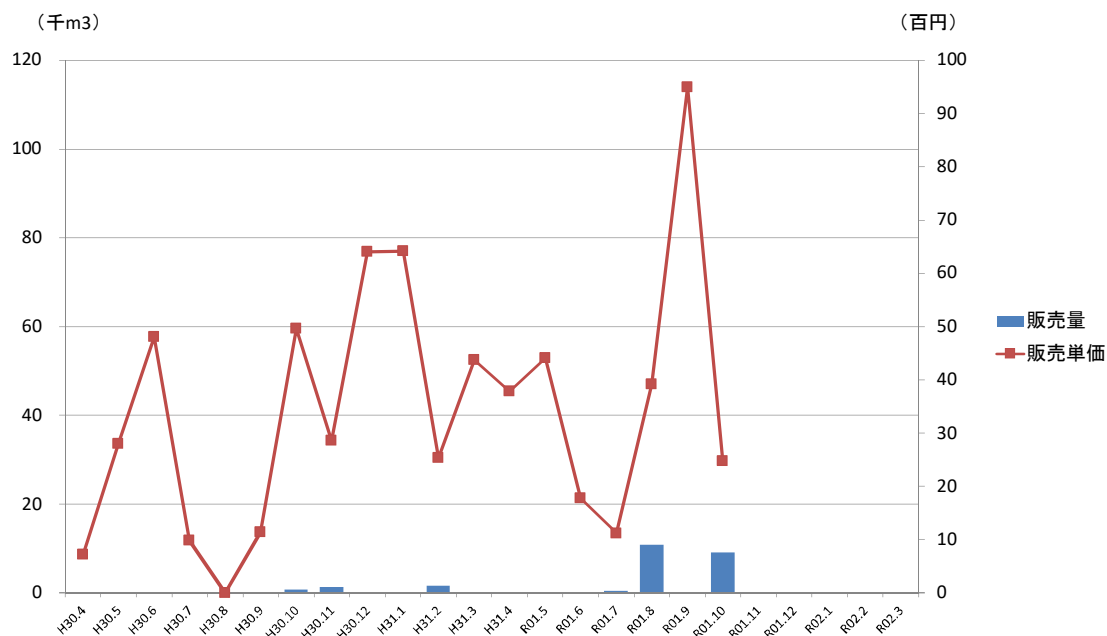


【H30年度】 実績 : 25万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 14万m3 実績 : 15万m3

資料 : 林野庁業務資料

国有林材の供給実績(近畿中国森林管理局)

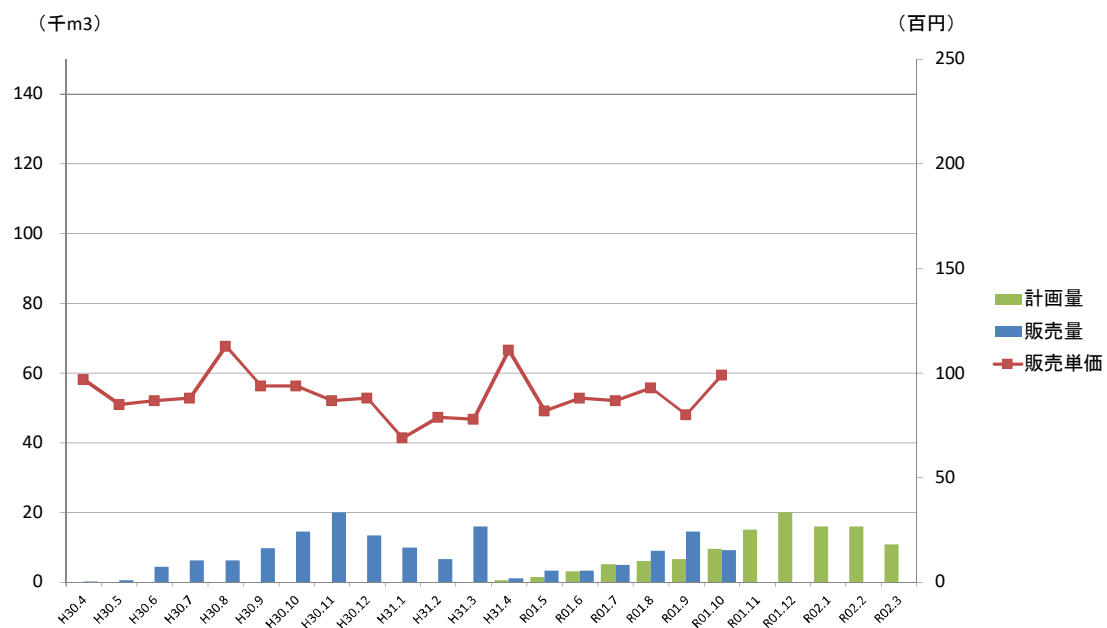
立木販売実績(近畿中国局)



【H30年度】 実績 : 0.4万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 14万m3 実績 : 2万m3

資料 : 林野庁業務資料

製品販売実績(近畿中国局)

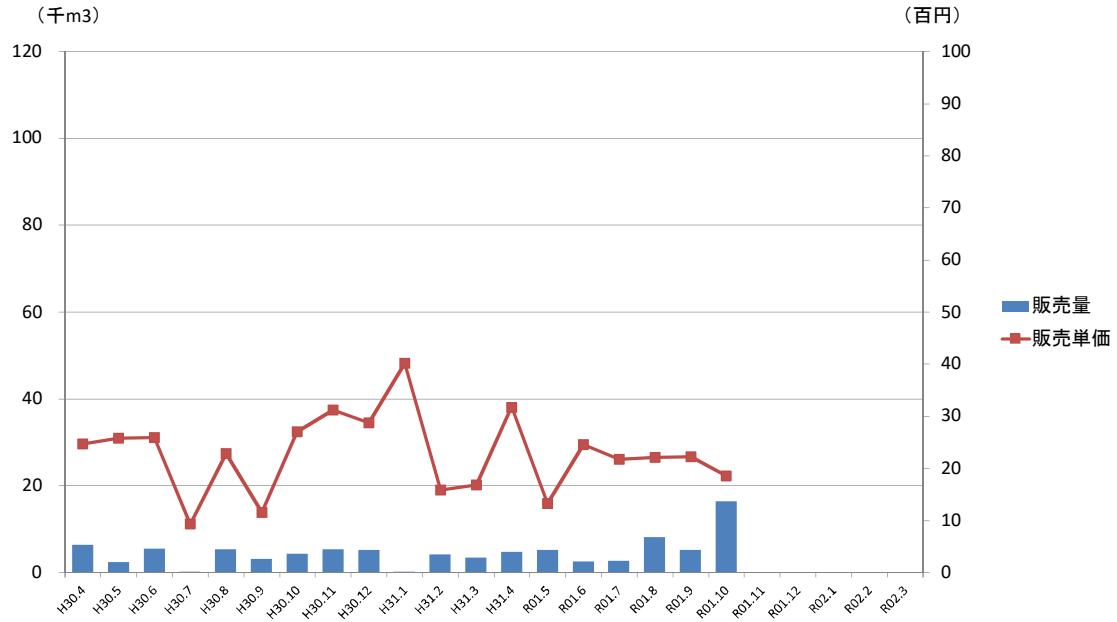


【H30年度】 実績 : 11万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 3万m3 実績 : 5万m3

資料 : 林野庁業務資料

国有林材の供給実績(四国森林管理局)

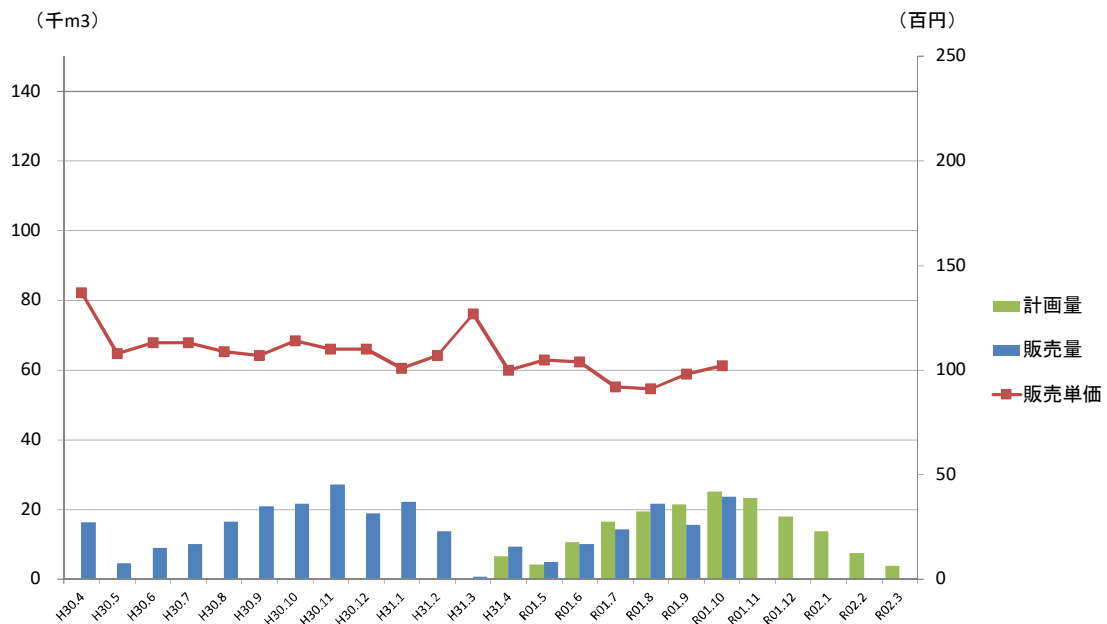
立木販売実績(四国局)



【H30年度】 実績 : 5万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 14万m3 実績 : 4万m3

資料: 林野庁業務資料

製品販売実績(四国局)

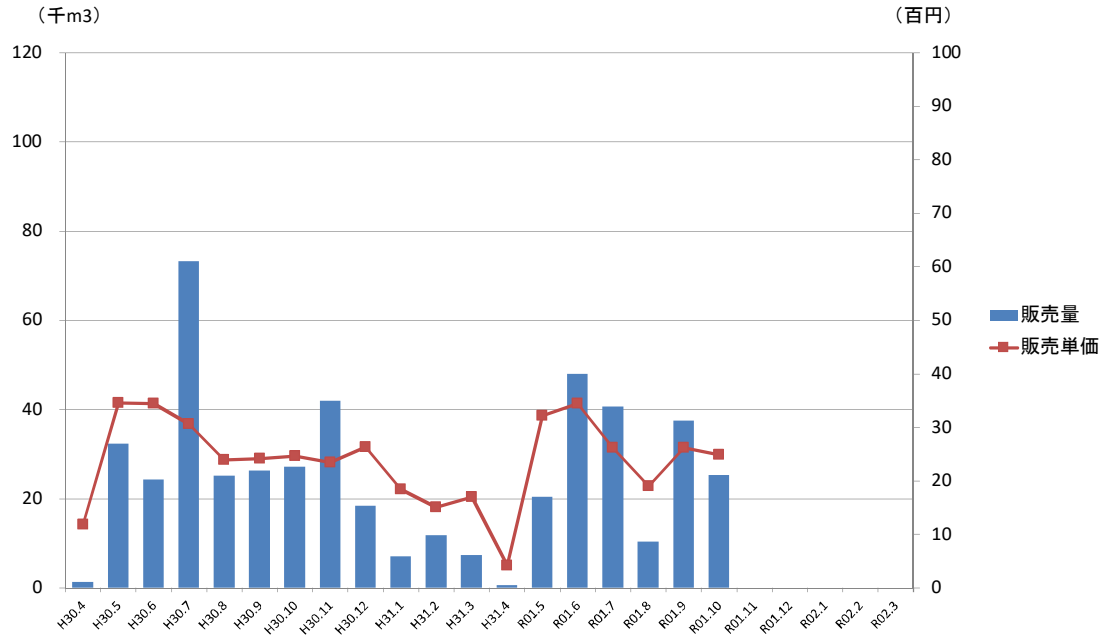


【H30年度】 実績 : 18万m3 【令和元年度(10月末時点)】 計画 : 10万m3 実績 : 10万m3

資料: 林野庁業務資料

国有林材の供給実績(九州森林管理局)

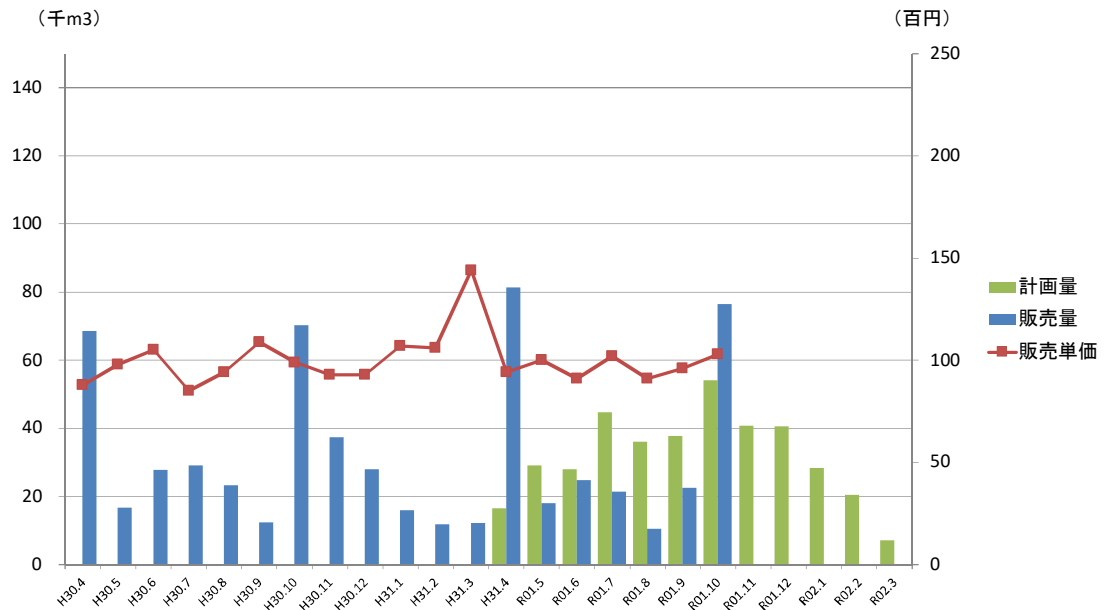
立木販売実績(九州局)



【H30年度】実績 : 30万m3 【令和元年度(10月末時点)】計画 : 35万m3 実績 : 18万m3

資料: 林野庁業務資料

製品販売実績(九州局)



【H30年度】実績 : 35万m3 【令和元年度(10月末時点)】計画 : 25万m3 実績 : 25万m3

資料: 林野庁業務資料